



正面中景

同志社女子大学・栄光館

建築家武田五一設計の建物の中央玄関上の庇と二階テラス高欄にテラコッタを使用しました。

同志社女子大学のシンボリックな格式の高い建物で建築家武田五一の設計によります。和風のデザインや八角形の塔屋を設けた洋風建築を織り交ぜた装飾的な意匠で設計されています。昭和初期の鉄筋コンクリート造りで同志社大学などの建築群と同様に煉瓦タイルを施工しています。今回正面の3連アーチ窓のベランダ周りやエントランス屋根の部分の装飾として施工されたテラコッタと外装部のタイル改修工事に参画しました。創建時の既存部との共存を図る為、釉薬で古さを表現した汚しを加え、現在の品質や精度を高めると同時に素材の色合わせと表情を追求しました。



外観全景

DATA

施主：学校法人同志社
 設計：武田五一 設計(改修)：類設計室
 施工：大倉土木 施工(改修)：ミラノ工務店
 所在地：京都市上京区今出川通寺町西入ル玄武町602-1番地
 竣工：1932年竣工 国登録有形文化財(建造物) 竣工(改修)：2011年11月

商品情報

外装壁タイル：FC-1 FC-2(特注)
 テラコッタ：TL-55-1945/9

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

外観



中景



全景



玄関上庇・ベランダ見上げ



中景

外観



玄関上庇・ベランダ見上げ



ベランダ近景



玄関上庇・柱まわり近景



ベランダディテール

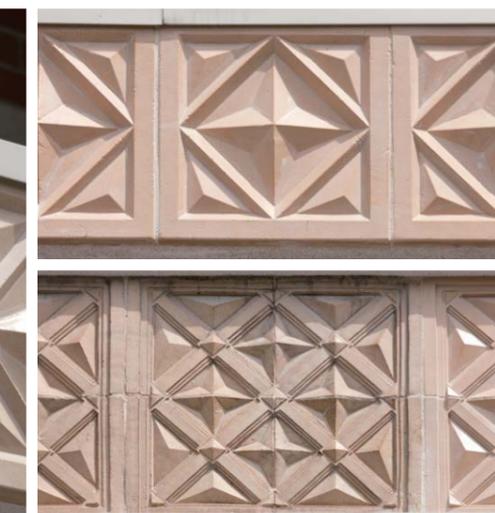
ディテール



テラコッタタイルディテール



テラコッタタイルディテールアップ



テラコッタタイルディテールアップ